

※本紙は組合員以外の商店街付近の商店にも配布しています。

中通り通信 6月号

▼発行者・中通商店街振興組合
事務局 (TEL.0827-22-3978 /
FAX.0827-22-3980)
▼発行日・令和7年6月26日

梅雨入り。麻里布も曇りや雨が続き、お天気もはっきりしません。まもなく夏の到来。海や山は眩しくなっていて、今年も新港花火大会が予定されています。また来月には軽トラ新鮮組！×錦川清流線も開催予定です。夏に向けて気分も新たに今月も商売繁盛で！

ほこみち事業

街の賑わい創出を目的に市が推進する、店前でオープンカフェ利用を促す「ほこみち」事業（国土交通省）の実施に向けて中通り商店街も取り組んでいます。（株）街づくり岩国では、市や商店街と一緒に先進地である福山の街を視察し、秋頃を目標に商店街を含む中心市街地で社会実験を実施する予定。国土交通省による、ほこみち事業の認定に向けて進んでいます。事業が始まれば、店舗様や関係団体と協力して、各店の営業に応じた出し入れが可能な看板や売り出しワゴン、イスやテーブルなどが使えるルールが作られ、賑わいある楽しい街づくりを実現していきます。

次回軽トラ市は 7/13

2009年に始めた中通り商店街の「軽トラ新鮮組！」は、一旦、定期開催を休止しましたが、今回は7月13日（日）に

開催予定。存続が懸念される錦川清流線のPRをテーマに、岩国の里山で採られる新鮮野菜・加工品を中心に、清流線沿線の特産品、観光資源、イベントの案内などを交えて賑やかな一日を計画しています。錦川沿線の里山は中通り商店街や現在の岩国の始祖となる地域で、その昔から「やましろ」と呼ばれた現在の玖北エリアのこと。沿線の歴史や文化、習慣に触れると、現在の岩国が見えてきます。その地域間を繋ぐのが「錦川清流線」。清流みはらし駅や、いろいろなイベント列車も企画されていて、清流線のネットワークを一つのテーマパークに見立ててアクティビティを体験するのも岩国市民ならではの楽しみ。駅前に始まり錦帯橋、御庄から

行波には「神舞」があります。棕野、小郷に美和へ通じる生見川。名桑の集落を抜けると美川に達し、道は錦と本郷へ分かれます。左近桜が伝わる錦町には新たなコンテンツも生まれ、美しいほたるの里府の谷もすぐ近く。「山代代官所」が置かれた本郷は、後に現代社会の礎を創った吉田松陰の兄、杉民治が伝わる地域。やましろは掘り下げれば、岩国に伝わる逸話の山ですね。

店舗前清掃のお願い

商店街では各店様へ、店前のタイル舗装路面の水モップによる毎日の清掃をお願いしています。公助・互助・自助の精神をもって、ご多忙と存じますが、ご協力をお願いいたします。

